

病院指標(平成29年度)

入江病院

集計項目

- 1) 年齢階級別退院患者数
- 2) 診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)
- 3) 初発の5大癌のUICC病期分類別ならびに再発患者数
- 4) 成人市中肺炎の重症度別患者数等
- 5) 脳梗塞のICD10別患者数等
- 6) 診療科別主要手術別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)
- 7) その他(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)

DPCデータによる病院指標（平成29年度）

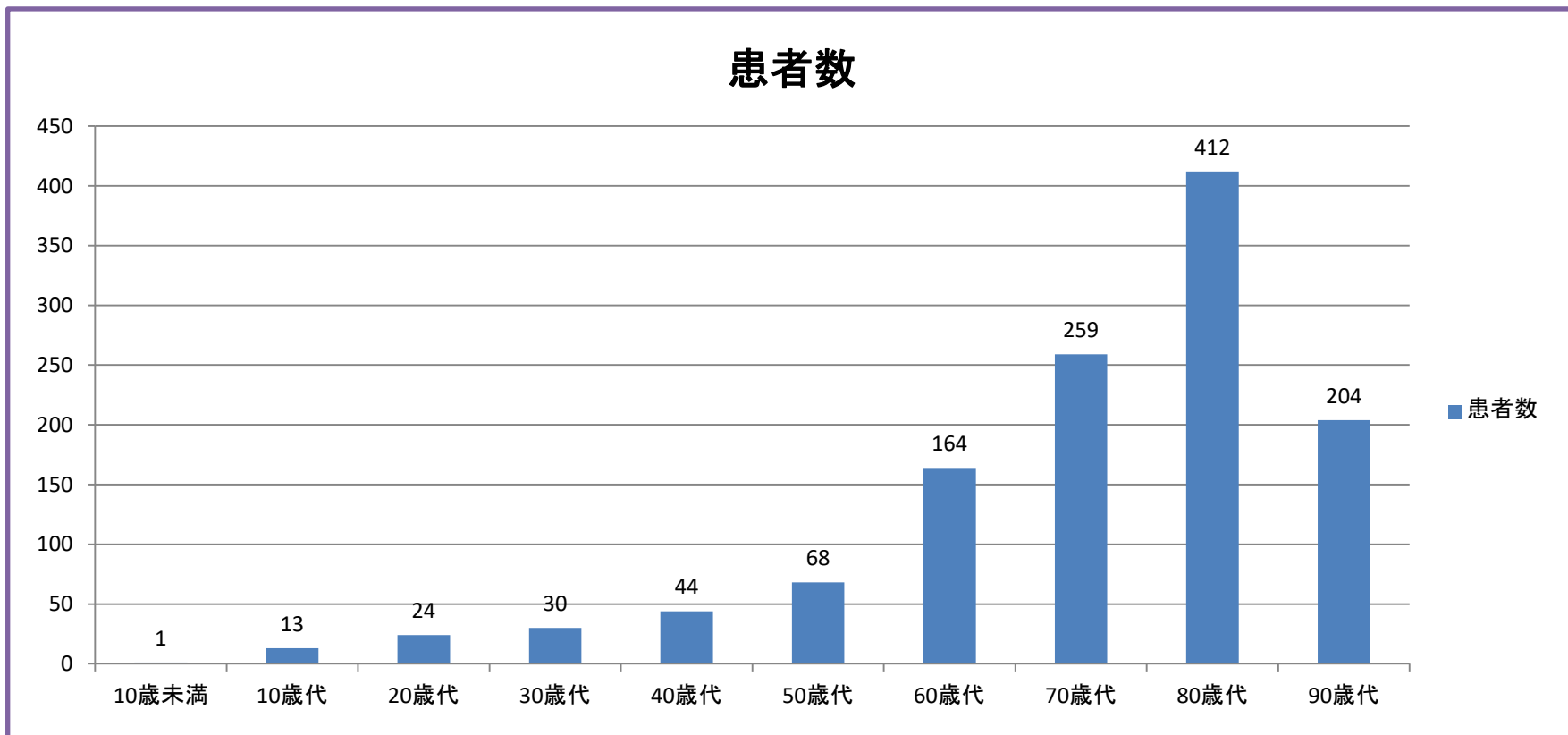
集計項目

- 1) 年齢階級別退院患者数
- 2) 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）
- 3) 初発の5大癌のUICC病期分類別ならびに再発患者数
- 4) 成人市中肺炎の重症度別患者数等
- 5) 脳梗塞のICD10別患者数等
- 6) 診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）
- 7) その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

（全体の集計方法と定義）

- ・平成29年度（平成29年4月1日～平成30年3月31日）に退院された患者さんが対象です。
- ・医療保険を使用された患者さんのみ対象とし、自動車賠償責任保険や労災保険、自費等は含めません。
- ・回復期リハビリテーション病棟、療養病棟、地域包括ケア病棟のみに入院し、一般病棟を一度も入院歴がなかった患者さんは対象にしません。
- ・退院日から同一疾患での7日以内の再入院の場合は、一症例として数えています。
- ・一般病棟からその他病棟（回復期リハビリテーション病棟、療養病棟、地域包括ケア病棟）へ転棟した症例は、入院日から退院日までを一症例として数えています。
- ・年齢は、入院日時点の年齢を基準としています。
- ・この指標は、病院指標の作成と公開（厚生労働省・DPC評価分科会：平成29年8月4日参考資料）に準じて作成しています。

① 年齢階級別退院患者数



定義

- ①集計期間に退院した患者さんの年齢階級別(10歳刻み)患者数です。
(ただし、入院から退院まで回復期リハビリテーション病棟、療養病棟、地域包括ケア病棟のみに入院していた患者さんは除きます。)
- ②年齢は、入院日時点の年齢としています。

解説

幅広い年齢層の患者さんが入院しておられますが、60歳以上の患者さんの割合が全体の8割を超えています。その中でも、年齢別では、80歳代が多く、全体の3割を占めています。

②診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)

※ 厚生労働省 平成29年度全国平均在院日数 平成30年4月1日時点 掲載されていません。

内 科

No.	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率 (%)	平均年齢
1	110310xx99xx0x	腎臓または尿路の感染症 手術なし 副傷病なし	22	22.77	—	4.55	83.00
2	150010xxxxx0xx	ウイルス性腸炎 手術・処置等2なし	14	4.71	—	0.00	34.64
3	030400xx99xxxx	前庭機能障害 手術なし	12	4.50	—	0.00	72.25
4	050130xx99000x	心不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	12	23.75	—	0.00	78.42
5	100380xxxxxxxx	体液量減少症	12	28.33	—	0.00	74.25

整形外科

No.	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率 (%)	平均年齢
1	160800xx01xxxx	股関節大腿近位骨折 人工骨頭 挿入術 肩、股等	73	66.59	—	8.22	84.29
2	160690xx99xx0x	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰 髄損傷を含む。)手術なし 副傷 病なし	59	56.56	—	10.17	80.24
3	160980xx99x0xx	骨盤損傷 手術なし 手術・処置等 2なし	12	47.83	—	0.00	84.08
4	160820xx99xxxx	膝関節周辺骨折・脱臼 手術なし	9	50.33	—	22.22	81.89
5	160820xx01xxxx	膝関節周辺骨折・脱臼 骨折観 血的手術等	5	61.80	—	0.00	74.80

脳神経外科

No.	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率 (%)	平均年齢
1	010060x2990401	脳梗塞(脳卒中発症3日目以内)、 かつ、JCS10未満)手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等24あり 副傷病なし 発症前 Rankin Scale 0,1又は2	14	34.36	—	7.14	66.57
2	160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	13	25.38	—	0.00	68.69
3	160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	10	21.10	—	0.00	80.40
4	010050xx02x00x	非外傷性硬膜下血腫 慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術等 手術・処置等2なし 副傷病なし	7	23.14	—	0.00	75.71
5	010060x2990201	脳梗塞(脳卒中発症3日目以内)、 かつ、JCS10未満)手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等22あり 副傷病なし 発症前 Rankin Scale 0,1又は2	5	35.20	—	0.00	81.80

総合内科

No.	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率 (%)	平均年齢
1	110310xx99xx0x	腎臓または尿路の感染症 手術なし 副傷病なし	33	23.24	—	6.06	78.06
2	040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	23	33.74	—	4.35	80.83
3	050130xx99000x	心不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	17	27.24	—	0.00	85.06
4	0400801499x002	肺炎等(市中肺炎かつ75歳以上)手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なしA-DROPスコア2	15	20.20	—	0.00	86.33
5	100380xxxxxxxx	体液量減少症	12	24.42	—	0.00	79.25

定義

- ①DPC対象病院は厚生労働省により3つの群に分けられており、大学病院本院がⅠ群、大学病院本院の機能に準ずる病院がⅡ群、Ⅰ・Ⅱ群以外がⅢ群となっています。
- ②トップ5の診療科のみ掲載の対象としています。

③初発の5大癌のUICC病期分類別ならびに再発患者数

5大癌	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明	再発	病期分類基準	版数
胃がん	4	-	1	-	2	1	1	7
大腸がん	1	1	1	3	-	1	1	7
乳がん	-	-	-	-	-	-	1	7
肺がん	-	-	1	-	-	4	1	7
肝がん	-	1	-	-	-	6	1	7

定義

- ①病期分類基準は、UICC病期分類(国際対がん連合 TNM悪性腫瘍の分類 第7版)に基づいたものです。
- ②集計期間中に退院した患者さんが対象で、実患者数を集計しています。
- ③集計期間中に初発として集計されたものは、再発には集計しません。
- ④病期分類が確定される前に亡くなられた場合等は、病期分類は不明となります。
- ⑤傷病名が疑い病名だったものは集計対象から除外しています。

解説

患者数としては、胃がん、肝がんが多くなっています。次いで大腸がん、肺がんとなっています。当院は、内視鏡的治療も行っています。

④成人市中肺炎の重症度別患者数等

患者数	重症度	平均在院日数	平均年齢
5	軽症	9.00	49.60
84	中等症	24.21	84.49
20	重症	31.15	87.25
6	超重症	56.67	87.00
—	不明	—	—

定義

- ①集計期間中に退院した20歳以上の患者さんを対象にしています。
- ②市中肺炎とは、普段の生活の中で罹患した肺炎を指します。
- ③入院契機病名および最も医療資源を投入した傷病名が、「肺炎・急性気管支炎(DPCコード040080)」さらにその中で、ICD-10コードがJ13～J18であるものが対象です。
- ④重症度は、市中肺炎ガイドラインによる重症度分類システム(A-DROP)により分類しています。
 - 1.男性70歳以上、女性75歳以上
 - 2.BUN21mg/dL以上または脱水あり
 - 3.酸素飽和度 $\leq 90\%$
 - 4.意識障害
 - 5.収縮期血圧90mmHg以下

解説

患者数では中等症の患者さんが全体の7割を占めています。

⑤脳梗塞のICD10別患者数等

ICD10	医療資源病名	発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率(%)
G45 \$	一過性脳虚血発作および関連症候群	3日以内	10	4.40	73.00	0.00
		その他	—	—	—	—
G46 \$	脳血管における脳の血管(性)症候群	3日以内	—	—	—	—
		その他	—	—	—	—
I63 \$	脳梗塞	3日以内	63	46.86	77.22	13.43
		その他	4	35.50	79.25	0.00
I65 \$	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、 脳梗塞に至らなかったもの	3日以内	—	—	—	—
		その他	—	—	—	—
I66 \$	脳動脈の閉塞および狭窄、 脳梗塞に至らなかったもの	3日以内	1	12.00	86.00	0.00
		その他	—	—	—	—
I675	もやもや病<ウイルス動脈輪閉塞症>	3日以内	—	—	—	—
		その他	—	—	—	—
I679	脳血管疾患、詳細不明	3日以内	—	—	—	—
		その他	—	—	—	—

定義

ICD-10とは、「国際疾病分類・第10回修正版」のことであって、疾病及び関連保健問題の国際統計分類です。WHO(世界保健機関)により公表された分類で死因や疾病の統計、診療記録などに活用されます。

解説

当院では、8割の患者さんが発症から3日以内に治療を開始しています。迅速に治療を開始することで早期離床に繋がり、早期にリハビリテーションを開始することができます。また、その後のリハビリテーションでスムーズに移行することにより発症後のADL(日常生活動作)障害が軽減されます。

また、当院では、急性期医療だけでなく、在宅支援に向けての、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、療養病棟を有しており、総合的な治療管理を行っています。

⑥診療科別主要手術別患者数等

(診療科別患者数上位5位まで)

内科

No.	Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率(%)	平均年齢
1	K7211	内視鏡的結腸ポリープ粘膜切除術(直径2cm未満)	56	0.50	1.68	0.00	65.32
2	K664	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、 腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)	21	26.33	102.95	9.52	82.33
3	K654	内視鏡的消化管止血術	10	0.80	24.90	10.00	74.60
4	K6852	内視鏡的胆道結石除去術(その他)	8	0.38	6.63	25.00	76.50
5	K6153	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)(その他のもの)	6	0.00	6.33	0.00	70.67

脳神経外科

No.	Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率(%)	平均年齢
1	K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	7	3.00	50.14	0.00	75.86
2	K145	穿頭脳室ドレナージ術	3	2.00	29.33	66.67	75.33
3	K1771	脳動脈瘤頸部クリッピング(1箇所)	2	0.00	37.00	0.00	74.00
4	K1641	頭蓋内血腫除去術(開頭)(硬膜外)	1	0.00	56.00	0.00	82.00
5	K1643	頭蓋内血腫除去術(開頭)(脳内)	1	0.00	10.00	50.00	69.00

整形外科

No.	K-コード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率(%)	平均年齢
1	K0461	骨折観血的手術(肩甲骨、上腕、大腿)	49	4.06	60.73	6.12	84.33
2	K0811	人工骨頭挿入術(肩、股)	37	3.97	65.41	10.81	84.46
3	K0462	骨折観血的手術(前腕、下腿、手舟状骨)	11	2.55	55.00	0.00	66.55
4	K0463	骨折観血的手術(鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足))	4	3.50	57.75	0.00	62.00
5	K0731	関節内骨折観血的手術(肩、股、膝、肘)	3	2.67	59.33	33.33	79.33

定義

各診療科での手術名称 患者数上位5位を集計対象としています。

退院時の診療科で集計しているため、必ずしも診療科＝手術実施科ではありません。

1入院中で主要な手術のみを症例数に集計しているため、手術の実施件数と必ずしも一致するとは限りません。

⑦その他（DIC、敗血症、その他の真菌症 および手術・術後の合併症の発生率）

DPC	医療資源病名	入院契機	症例数	発生率(%)
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	—	—
		異なる	—	—
180010	敗血症（一歳以上）	同一	16	1.31
		異なる	4	0.33
180035	その他の真菌症	同一	—	—
		異なる	—	—
180040	手術・術後等の合併症	同一	4	0.33
		異なる	—	—

定義

この指標は、医療の質の改善に資するため、臨床ゼロにはなりえないものの少しでも改善すべきものとして、播種性血管内凝固症候群、敗血症、その他の真菌症、手術・術後等の合併症について、入院契機病名（入院のきっかけとなった傷病）の同一性の有無を区別して対象患者数との発症率を示したものです。